

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200264
事業所名	グループホームみんなのざいしょ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域密着の社会資源の活用を意識し、スーパーの利用や飲食店利用等で、日常的に地域住民と交流している。法人組合員の班会をホームで開き、来訪者を増やす工夫も行っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 併設の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で、年6回の会議を開催している。利用者の現状やホーム運営の報告を通じ、参加者と意見交換を行っている。ホームの困りごとや相談に対しても親身な話し合いの場となっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には地域包括支援センターの参加が得られ、介護保険に関わる情報を共有している。市の担当部署とは、運営に関する相談や報告を通じて適切に連携を図っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 年1回の家族会では、忌憚のない意見聴取の機会がある。その他、面会時には積極的に情報提供を行い、意見の出しやすい環境を作り、希望や意向を聴き取っている。聴き取った内容は職員間で共有し、実現に向けて取り組んでいる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	×	○	○	○	○	×	○	○		